

令和5年3月吉日

PTAだより 第2号

国立第六小学校 PTA
会長 赤根 典子
執行部・書記担当

校長先生挨拶「新たな春に希望をもって」

新型コロナウイルス感染症は、3年という長い歲月、世界に「わざわざ」をもたらしました。令和2年の春。突然の休校と異例の卒業式を経て、先行きの見えない不安を抱いて巣立っていた6年生が、この春中学校を卒業します。彼らの中学校生活は、マスク生活の3年間でした。今年度卒業の6年生も小学校生活の半分がコロナ禍でした。どうしようもない、ぶつけようのない思いが、見る者の魂を揺さぶる運動会のあのソーラン節になりました。卒業式練習で久し振りに見た素顔は、あどけなさが抜け、「中学生」になるぞという顔つきでした。子供たちは、この3年間のマイナスを挙げることで、得たことを活かし、未来に向けて進んでいくことでしょう。

コロナ禍、PTA活動も様変わりしました。来校いただく対面での活動が減り、書面総会も定着しました。その一方で、子供たちの為に今できることをしようと、「サマースクール」「二中吹奏楽部演奏会」の企画・運営などを行い、人と人がつながる場をつくっていただいたことは、大変心強くありがたいことでした。

さて、新たな春の訪れです。コロナ禍前のやり方に戻すこと、コロナ禍で得た方式に変えること、双方の良さを活かして新たに創っていくことを考え、整理していきます。学校とPTA、地域の皆様とがつながりをもってよきパートナーとなり、子供たちの育ちを支援していきましょう。本年度のご理解・ご支援に心より感謝申し上げます。今後も何とぞよろしくお願いいたします。

PTA 会長挨拶「いつも心に、音楽があふれますように」

あっという間に春めいてきました。卒業生のみなさん、おめでとうございます。

3月14日にPTA 企画で二中吹奏楽部をご招待させていただきました。250名以上もの方々にご来場いただいて、素晴らしい演奏会になりました。本当にありがとうございました！

音楽は人生と共にある、と思っています。嬉しい時も、悲しい時も、頑張るときも、心の支えになってくれます。

六小の卒業生は、ほとんどが二中へ行きます。コロナ禍で簡単に行き来もできなかった日々のなかで、PTAとして子どもたちに何ができるかを考えました。

いろんな場所で素敵な演奏をしている二中吹奏楽部。六小の子どもたちに、先輩たちの音楽を届けたい。中学校は夢と希望があふれる場所だと感じてほしい。「どうしても自分の任期中に初めての演奏会を実施したい」と、とても無理をいいました。ご尽力いただいた小菅校長と吹奏楽部顧問の森田先生・吹奏楽部のみなさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、全体委員会で「PTAをやってよかったこと」を話し合ったとき、「自分の子どもだけでなく、六小の子どものためにという広い視野をもてた」という役員からの意見がありました。これこそがPTAをすることの大きな意味であると、私も実感しています。

あの日の音楽が、これからも六小で響き続けることを願っています。

◇執行部活動報告と今後の予定◇

- 10月 学校と打ち合わせ（会長・副会長2名）
育成会定例会出席（会長、副会長1名）
クリーンボランティア参加（執行部4名）
防災訓練参加（夜の部、昼の部 それぞれに参加）
運動会 受付・駐輪場誘導（執行部、各委員会代表）
- 11月 見守り情報交換会（副会長1名）
育成会定例会出席（会長、副会長1名）
執行部会開催（執行部）
第3回全体委員会開催（執行部、各委員代表にて意見交換会）
会計中間監査（副会長2名、会計2名）
防災訓練にて見学とPTA便りの取材（副会長2名、書記2名）
育成会俳句大会入力作業（会長、副会長1名）
学校評議委員会出席（副会長2名）
教育フォーラム「地域とともにある学校づくりを目指して」
（会長・副会長2名）
- 12月 二中吹奏楽部と打ち合わせ（会長）
育成会定例会出席（会長、副会長1名）
会長等協議会出席（会長）
国立市立小・中学校 校長・PTA 会長等連絡会「矢川プラス見学会」出席
（会長）
- 1月 育成会定例会出席（会長、副会長1名）
5年生特別授業「助産師による命の授業」参加（会長）
会長等協議会出席（会長）
六小展覧会・書き初め展 受付と体育館見守り（会長・副会長2名）
- 2月 矢川プラス見学会 六小職員とPTA向け（執行部4名）
学校保健委員会 「大人が学ぶ性（生）教育」参加（副会長1名）
育成会定例会出席（会長、副会長1名）
二中吹奏楽部と打ち合わせ（会長）
六小地区学童見守り会 連絡会への参加（副会長1名）
執行部会開催（執行部）
防災備蓄品について打ち合わせ（副会長1名、会計）
第4回全体委員会開催（執行部、各委員代表にて意見交換会）

各委員の活動報告は、感染防止対策の点から自宅でメール等により作業を行うことが中心となっておりますので今回は割愛いたします。ご了承ください。

執行部・各委員も集まる事が難しいなか、連携をとってそれぞれの役割を任期満了までがんばっています。今後ともご協力のほど宜しくお願いいたします。

防災フェスタくにたち～国立第六小学校にて～

10月22日に国立第六小学校の校庭・体育館を使用して、「防災フェスタくにたち～総合防災訓練～」夜の避難訓練を行いました。地域の方々も多く参加し、体育館に入るまでに長蛇の列となっていました。夜間に災害が発生した時は、暗い中の避難となります。停電を想定した誘導方法がとられており貴重な体験ができました。



体育館ではたくさんの人が避難所体験。実際の災害時には先生方、地域の方と一緒に避難所の運営を行います。



段ボール製ベッドの寝心地を試したり、テントの中に入りたいして、避難所の様子を知ることができました。



災害が起きた時、重要なのがトイレの問題。すぐに対応できるように、知識と準備が必要です。

防災フェスタくにたち～総合防災訓練～2022

10月23日には、総合防災訓練が国立第六小学校を会場に行われました。国立市の消防団が訪れ、炊き出しなども行い、災害発生時にはいかに日頃からの備えが大切かという知識を学ぶことができました。また自宅で準備しておくべき防災備品の説明など、意識が高まる体験をすることが出来ました。



防災フェスタくにたち
総合防災訓練
2022



防災食や備蓄品



消火器の使い方を知る事で初期消火の大切さを実感。はしご車は、いかに高く上がっていか分かります！



災害時、すぐに必要な物がたくさんあります。各家庭でも緊急時に備えて事前に準備しておくことが大切です。どれぐらいの備蓄品があるのか、1年に1度の使用期限のチェックも、いざという時のために必要不可欠です。

合同防災訓練～国立第六小学校にて～

11月19日に「合同防災訓練」が国立第六小学校にて行われました。六小の防災訓練は、6年間で防災についての知識が身につけられる計画となっているそうです。低学年では防災DVDの視聴や消火訓練・通報訓練、中学年は車いす体験や包帯法、高学年ではロープワークやAED訓練を行いました。コロナ禍での参観のため、すべての学年の様子は参観できませんでしたが、地域団体や消防署員から教わる防災の知識を学べ、子供たちも防災への意識が高まっていました。



くにたち未来共創拠点「矢川プラス」見学会報告

令和5年4月、矢川団地の一角に「くにたち未来共創拠点・矢川プラス」がオープンします。多世代が利用できる機能を備えた国立市で最初の総合公共施設です。オープンにさきかけ、施設の見学会が、国立市の校長・PTA 会長会、地域・保護者向けと複数回行われました。2月10日に行われた見学会では、地域住民・民生委員・六小の先生方・PTA 執行部（4名）が参加しました。

